

日立港木材倉庫株式会社

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	大須賀発蔵(常勤)		県所管部課	土木部港湾課	
所在地	茨城県日立市留町2435-10		電話番号	0294-53-1311	
ホームページURL	http://business3.plala.or.jp/mokuzai		E-mailアドレス	mkpq@pluto.plala.or.jp	
資本金	135,000 千円		設立年月日	昭和40年11月5日	
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額	出資比率
	1	茨城県		9,000 千円	6.7 %
	2	(株)日立ライフ		8,985 千円	6.7 %
	3	高井作衛		8,840 千円	6.5 %
	4	(株)茨城木材相互市場		8,525 千円	6.3 %
	5	常陸木材(株)		6,290 千円	4.7 %
	その他	65 団体		93,360 千円	69.2 %
設立目的	日立港における輸入木材の埠頭及び貯木場利用の円滑化、地場産業の育成・外国貨物取扱いの保税蔵置場維持管理・輸出入貨物の需要に対応した需給の安定・輸出用梱包材の国際協定に基づく殺虫消毒の実施・植物防疫法に基づく検疫業務の手続き等について受託しその一元化を図る。				

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内容
事業1 保税・保管部門	54,650 千円	関税法に基づく輸入貨物の一時保管(輸入者の代形で輸入貨物を国内貨物にする通関等の諸手続きを行なう)
事業2 くん蒸部門	16,500 千円	植物防疫法に基づく輸出入貨物に付着する有害動物・植物の検疫業務及び輸出用梱包材の国際協定に基づく殺虫消毒等、水際検疫業務を行なう事で、国内農林業産物の需給の安定を図る。
事業3 営業倉庫部門	95,261 千円	輸出入貨物・国内貨物を倉庫業法に基づく保管・流通加工・入出庫業務を行なう事により、倉庫利用者の利益を保護するとともに、円滑な流通を確保する。

[組織]

年度	7月1日現在の人数	平成15年		平成16年		平成17年			
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB		
役員	常勤取締役	1	1	2	1	2	1		
	非常勤取締役	10		8		7			
	常勤監査役								
	非常勤監査役	4		3		3			
	計	15	0	1	13	0	1	12	0
職員	管理職					3			
	一般職	7		7		5			
	臨時職員								
	嘱託職員								
	計	7	0	0	7	0	0	8	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数		
	0	1	4	3	8	47 歳 6月	21年 5月		

[収支の状況]

日立港木材倉庫株式会社

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	売上高	150,506	152,502	196,613
	売上原価	68,361	74,307	105,013
	売上総利益	82,145	78,195	91,600
	販売費及び一般管理費	76,834	73,661	83,393
	うち管理費	9,151	8,276	15,020
	うち人件費	67,683	65,385	68,373
	営業利益	5,311	4,534	8,207
	営業外収益	8,001	8,029	7,954
	営業外費用	304	521	255
	経常利益	13,008	12,042	15,906
	特別利益	15,090	1,200	120
	特別損失	15,090	0	437
	税引前当期純利益	13,008	13,242	15,589
	法人税、住民税、事業税	1,037	7,037	9,463
	当期純利益	11,971	6,205	6,126
	前期繰越金	5,634	5,205	5,244
	当期未処分利益	17,605	11,410	11,370
利益処分・損失補填額	12,400	6,166	6,558	
次期繰越金	5,205	5,244	4,812	
財 産 の 状 況	資産	332,471	351,167	343,548
	流動資産	83,416	109,445	109,427
	固定資産	248,039	240,960	233,613
	繰延資産	1,016	762	508
	負債	14,205	32,097	44,388
	流動負債	4,029	23,976	32,976
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	10,176	8,121	11,412
	うち長期借入金	1,600	0	0
	資本	318,266	319,070	299,160

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	6,248	6,248	6,163
	貸付金			
	計	6,248	6,248	6,163
	財政的関与の割合(%)	4%	4%	3%
損失補償・債務保証				

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支出項目	目的・内容・効果
補助金	
委託金	①第5埠頭及び貯木場内港湾施設(フェンス・防舷材等)点検及びその清掃 ②貯木場内緑地帯の維持管理(植栽の剪定・除草殺虫剤散布その他) 「日立港管理業務」を受託することにより適正な管理が図られた
貸付金	

[評価総括]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	4	10	10	100.0%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	21	40	52.5%
効率性	7	15	24	62.5%
合計	30	60	90	66.7%

企業会計用

日立港木材倉庫株式会社

警戒指標

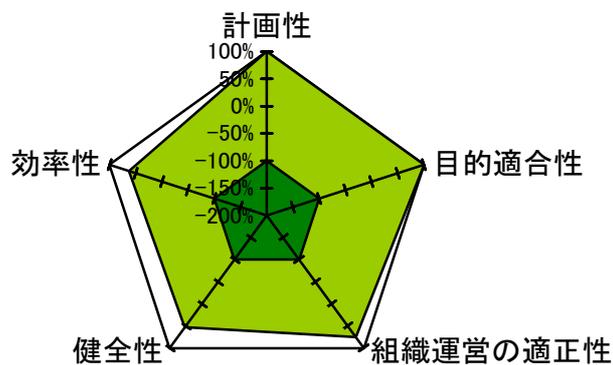
--

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

経営評価レーダーチャート



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
現在の取り組みを継続すると共に、今後に備えて予算制の導入なども検討していきたい。	地域の顧客にとって必要なオンリーワン保管施設を創り「地域社会の発展と地域環境の保全に寄与していく」ことを目的として、企業理念の実現を目指していく。	管理者を1名職員の中から登用し、諸規定についてできるだけ、明文化するようにしていきたい。	景気の動向に大きく左右される部門であるが、より安定的な貨物の確保を最重要課題として取り組むとともに、内部留保を高めていきたい。	前年度に非常勤役員に対する報酬の見直しを実施したが、今後は更に売上高を伸ばし、効率性を高めるよう取り組んでいきたい。
今後の事業展開の方向	昨年度設置した経営推進委員会においては「経営基盤の確立と人材育成を図るとともに、新たな収益構造を図っていく」という長期的な目標が出された。また、この目標の達成のために当面「物流倉庫・保管・野積場の多角的利用を推進していく必要がある」ということで認識が一致した。これは、新たな収益構造の構築に備え、内部留保を高めていこうという考えに基づいたものである。この手段が軌道に乗らなければ、自前の資金を使わずに新たな収益構造を構築する道があるかどうか検討しなければならない。外部有識者なども交えながら、今年度新たな事業計画等を策定する予定としている。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
景気の動向に対応するため、今後も定期的な見直しを行うなど計画完遂に努められたい。	木材業界のリーダーとして、引き続き第5埠頭B・C岸壁の利用促進や背後地の効率的な運営など公益的な役割を担って行くことが期待される。	平成16年度に経営推進委員会を設置するなど積極的な組織運営である。今後は、会社の将来を担う管理者を職員の中から登用することが望ましい。	内部留保をより一層高めたうえで、今後の新規事業開拓のための環境を整備して行くことが望ましい。	非常勤役員等の報酬を見直し、効率性を高めるための諸施策の実施は高く評価できる。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
	補助金等については、県と出資団体等との役割分担の見直しを行い、縮減します。		日立港第5埠頭及び貯木場内の清掃・点検などといった、必要最小限の管理業務委託としている。 売上高に占める委託料の割合は、約2.9%にすぎない。	
法人担当課の意見	健全性、効率性を維持するため、非常勤役員等の報酬を削減するとともに、「経営基盤の確立と人材育成を図るとともに、新たな収益構造の構築を図っていく」ための経営推進委員会を設置するなど、少人数ならではの改革に取り組んでいることは高く評価できる。今後は、日立港第5埠頭B・C岸壁の利用促進や背後地の効率的な運営を図るなど公益的な役割を担って行くことが必要である。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>経営内容は良好であり、大きな経営上の問題はないといえる。ただし、常勤職員の年齢構成がアンバランスであり高齢化していることから、今後、計画的に是正していくことが必要である。 他方、平成16年度に社内に設置された「経営推進会議」において、新たな経営基本方針が示されたことから、平成17年度は、基本方針を踏まえたより具体的な事業計画等を策定するとのことなので、その達成に役職員一同努力されたい。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>今年度策定される、新たな事業計画等に沿った安定した経営を行い、さらに第3セクターとして、日立港の利用促進及び背後地の効率的な運営を図る公益的な機能を発揮できるよう指導していく。</p>

< 日立港木材倉庫株式会社 から県民のみなさまへ >

県の出資法人として、わが社に関係するすべての「お客さま」、「株主さま」、「お取引先さま」、「従業員」がより大きな喜びを分かちあうため、そして「地域社会の発展」と「地域環境の保全」に寄与するため、わたしたち従業員ひとりひとりは、基本方針を正しく理解し、いかなる時も行動の礎として邁進してまいります。

平成18年2月 代表取締役社長 大須賀発蔵